



NPOのはじめの一步
「参加してきましたー！」

● 連携事例集

「NPO×行政」「NPO×企業」

● ユース世代に聴いてみよう

● 岩手県からのお知らせ

● 岩手県社会福祉協議会

● ボランティア・市民活動センター

● からのお知らせ

● 活動から生まれたもの紹介

「オリジナルポーチ」



NPO 法人 Green Fields の
環境美化活動
ボランティアの様子

はじめての一步!
「ボランティアに参加してきました!」

定期的ボランティアを募集して活動を展開している団体を紹介。ボランティア情報の収集から作業までの流れも含めて、参加していくステップとともにお伝えします。

NPO 法人 Green Fields

ボランティアの様子



体験者 N.S

いざボランティアを始めようと思っても、わからないことが多く不安になりませんか?特に、初めての場合は、関心を持っていても何から始めればいいのか悩めますよね。そこで、今回の特集では、PIN 担当スタッフが実際にボランティアに参加してきました!

STEP1

情報収集

身近にどんなボランティア活動があるだろう?と考えた時、自治体の広報誌、団体のインターネット、ホームページ、市民活動センターや公民館等の掲示物など様々な情報収集の手段があります。

今回、インターネットで「岩手・6月・ボランティア」をキーワードに検索し、岩手県内のボランティア活動情報をまとめたサイトからNPO法人 Green Fields のボランティア募集を見つけました。
内容は、開運橋南コミュニティガーデンのメンテナンス作業で、専門知識は必要なく誰でも参加できるものだから挑戦してみることにしました。

岩手 6月 ボランティア



- ◆ ずっぱりボランティアいわて (岩手県社会福祉協議会)
- ◆ NPO 活動交流センター ボランティア情報
- ◆ ボランティアプラットフォーム (ボランティア募集掲示板)

今回利用したサイト↑

STEP2

参加申込み

電話で予定通り活動を行うことを確認し、申込みをしました。屋外での活動のため、当日が雨の可能性が高い場合の対応も教えてもらいました。後はお天気を願うばかり。

CHECK

注意事項

持ち物

STEP3

集合場所へ

当日朝9時半前、盛岡市の開運橋南コミュニティガーデンに到着です。Green Fields のメンバーの方々に挨拶して、参加者表に記入している間に他のボランティアさんも集まってきました。

集合場所



STEP4

ボランティア開始

まず代表理事の吉川三枝子さんから作業の説明があり、その後作業開始。この日は咲き終わった花の手入れと雑草取り。作り込み過ぎないナチュラルガーデンなので、素人にはどれが雑草か迷う場面もありましたが、メンバーの方々に教えてもらいながら作業を進めました。他のボランティアさんとも話が弾んで楽しく活動できました。



雑草を根本から切って小さくカット。処分にもこんな工夫

作業終了後は、日当たりの悪い所には日陰を好む植物がデザインされているなど、ガーデンの説明をしてくださいました。たくさん種類が植えられていることに驚きつつ、名前や特徴、どの花が咲いているのかなど、知る事ができました。

感想

初対面の方ばかりでしたが、お花への関心が共通項になって和気あいあいとした時間でした。一緒に活動した方は「1人での庭造りはマンネリ化することがあるけれど、ここに来るとガーデンデザインを学べるし、庭造りのヒントにもなって楽しい」と話していました。

ボランティア活動は、自身の関心を広げることにもつながると思います。気になる活動があれば、内容を聞いてから参加を決めることも可能です。はじめての一步の種はいろんな場所に落ちていて、改めて感じました。



NPO 法人 Green Fields

1999年に前身「オープンガーデンいわて」を発足。2014年にGreen Fieldsとして法人化し、盛岡市を拠点に沿岸部も含めて「花と緑のある暮らしを広めたい」と活動しています。

「開運橋南コミュニティガーデン」のメンテナンス活動は、4月～11月の毎月第2月曜日、9時半から行っています。関心を持った方が気軽に参加できるように意識しています。11月3日(金・祝)には、陸前高田市の「陸前高田フラワーロード」でスイセン植え替え作業を行うため、こちらの参加者も募集しています!お問合せや参加申し込みは下記まで。

TEL: 090-6255-6790
MAIL: gfields.npo@gmail.com



LINE ↑



Facebook ↑

NPO 活動交流センター こう使おう!

NPO 活動交流センターのある盛岡駅西口のいわて県民情報交流センター「アイーナ」の6階ラウンジでは、助成金情報、イベント・セミナーなどのチラシ・ポスターを展示しています。イベント情報に関連してボランティア募集が掲載されることもあります。情報収集できる場所の一つとして、ぜひ気軽にお立ち寄りください。



NPO 活動交流センター
TEL: 019-606-1760
MAIL: n-katsu@aiina.jp



岩手県 NPO 活動交流センター サイト→

地域課題の解決や社会貢献のための様々な活動について、NPO 単独で行うのではなく、企業や行政と連携・協働することで新たな成果が生まれています。岩手県内のそんな事例をご紹介します。

事例1

やりたいことを体現できる
フィールドとして選ばれる地域に

NPO×行政



NPO 法人 SET
×
葛巻町



葛巻町では、NPOと行政が連携し、若い世代の育成を通じたまちづくりに取り組んでいます。NPO 法人 SET は、2021年度から「若者関係人口創出事業」を受託し、県内外の大学生インターンが、町内に滞在しながら地方創生や地域づくりに関わる企画を実践する取組を進めています。2023年度から「若者・高校生地域探求実践事業」も始まり、地元高校生の主体的なやりたいことをサポートしています。

事業を担当する「いらっしやい葛巻推進課」は、住民・公民連携のまちづくりを重視しており、SETの大学生を呼び込む力や新しい風が、住民の力を引き出し、地域を盛り上げてくれると期待しています。また、県立葛巻高等学校や、くずまき観光地域づくり協議会の活動とも連携し、出身地を問わず町に関わる多様な人たちが交わる土壌が作られようとしています。

これまで県外からの参加が多かった大学生インターンに、2023年度には、初めて3人

くずまき山村留学生 & 若者高校生部会(愛称:ばず部)

県立葛巻高等学校では、2014年度から「くずまき山村留学生」を全国から募集し、現在26名が学んでいます。くずまき観光地域づくり協議会が設置する4部会(観光・交流促進、まちなか賑わい創出、関係人口創出、若者・高校生)のうち、若者高校生部会に留学生や地元高校生も参加し、「バズる」にかけた愛称で呼ばれています。



もっとくずまき公式 Instagram

の県立葛巻高等学校出身者が入りました。この取組は進学後も地元との関係を継続できる受け皿でもあると感じます。

SETの佐々木里樹さんは「高校生・大学生として活動できる短い期間に仲間たちと様々なチャレンジが出来ることは、その後も町に関わり続けることにつながる。それを地域や担当課の方々と一緒にサポートしていきたい」と話します。官民が協働し町の魅力を伝える取組は続いていきます。



Flower Action

ユース世代の活動とインタビューをお届けします

ユース世代に
聞いてみよう

Power Action は、2022年7月、県立花巻北高等学校の当時2年生3名が、授業で取り組んだ探究活動を自主的な活動へ発展・継続するタイミングで立ち上げた団体です。「花巻をもっと元気に！」が活動テーマです。中学生が将来を考える時、初めから地元にはやりたい職業はないと思いつま、地域の魅力や職業を知ることが出来るように、様々な職種インタビューをSNSで紹介しています。学生・大人・地域の方々参加する「かっこいい大人になるための地域交流会」も開催しています。現

事例2

地域への思いは

NPOも企業も同じ



NPO 法人 ディスカバー・リアス
リアスは、東日本大震災津波から復興する地域に触れ、三陸の絶景を楽しみながら新たな魅力を発見してほしいとの思い

から、宮古市から宮城県南三陸町までの全長311kmを6日間で走る「ステージレース三陸311」の開催を目指して活動しています。



NPO 法人 ディスカバー・リアス
×
第一生命保険株式会社盛岡支社

活動を始めた矢先、新型コロナウイルス感染症が広がりました。コロナ禍でも小規模に出来ることから活動しようと、2022年に三陸鉄道ロゲイニング(通称:さんロゲ)を2回、2023年5月にはステージレース三陸100を開催しました。第一生命保険株式会社盛岡支社は、「震災から立ち直った今の三陸の魅力を発信したい」との思いに共感し、協賛を決めました。

さんロゲには第一生命の社員も参加しました。宮古営業オフィスの住吉雅俊さんは、「地域を盛り上げたいの思いは企業もNPOも同じです」と話します。普段は車で通り過ぎる場所も、歩くことで景色が変わり、チェックポイントのお店や地点それぞれが、ワンカットの情景として印象に残ったそうです。

ディスカバー・リアス代表の中尾益巴さんは、「沿岸にオフィスを持つ企業からの共感はとても嬉しいです。人とおまじをつなぎ、一緒に地域を盛り上げていきたい」と話してください

三陸鉄道ロゲイニング(通称:さんロゲ) & ステージレース三陸100

ロゲイニングはオリエンテーリングの一種で、さんロゲでは三陸鉄道を乗り降りしながらチェックポイントを探して得点を競います。ステージレースは、キャンプ等で宿泊しながら行うランニングや自転車などのレースを指します。ステージレース三陸100では、海を間近に見ながら山を走る100kmのコースを2日間かけてランニングで競います。



ディスカバー・リアス サイト



いました。地域の魅力を再発見することは住民の誇りとなり、人々が豊かで健康な人生を送ることに繋がると取材を通じて感じました。

在は3年生となった3名の他、同校の2年生2名、1年生2名の7名で活動しています。

コロナ禍を経験し、将来も岩手に残りたい気持ちが強くなりました。地域にある職業や大人たちの思いに関心があります。

登下校時の見守りなど、地域の方々にもお世話になりました。花巻を盛り上げて恩返ししたいです。

活動を通じて花巻の現状を知ることができました。企画の運営・実施、活動発信、チラシデザインなど、色々なことにも挑戦できて楽しかったです。

今年度は、職業インタビューを冊子版「Let's work in Hanamaki」花巻で働こう Vol.1」として発行予定です。地域交流会を定期的に開催する他、8月には、地域交流会を拡大したイベント「ワークランド花巻」を開催します。

Instagram



facebook



関心がある中高生メンバー 随時募集中

ボランティア体験今年も始まっています！

やってみよう！やさしさ伝えるその一歩
2023 ボランティア体験 in いわて

岩手県内各地で、子どもから大人まで、親子でも参加できるボランティア活動を紹介しています。主に高齢者、障がい者、子ども、各種イベントなどに関するボランティア活動です。お好きな方法で、ボランティア活動を探してみてください。

体験期間：令和5年4月1日～令和6年1月31日

検索・参加方法その1

パソコン・スマホから

検索・参加方法その2

最寄りの社会福祉協議会の窓口に
「ボランティア体験 in いわてに参加したい」とご相談ください。



体験例1

いわて親子フェスティバル in アイーナ

コーナーの企画、当日の運営等

募集人員 100人
期日・時間 令和5年10月9日
活動場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)

体験例2

放課後デイサービスでの余暇支援

食事介護、遊び支援、環境美化等

募集人員 1日あたり2～3人
期日・時間 令和5年6月土曜日、夏休み、冬休み
活動場所 放課後デイサービス
リトルグラス、すてっぷ

体験例3

利用者とのふれあい交流

日中活動、レクリエーション手伝い等

募集人員 若干名
期日・時間 令和5年4月～令和6年1月
活動場所 障害者支援施設やまゆり

ボランティア保険について

安心してボランティア活動をするために、活動中のケガなどに備えて、まずは保険に加入しましょう！

個人で、ボランティア活動に参加する予定だけど、保険に入っていた方がいいかな？



ボランティアグループで行事を開催する予定だけど、行事参加者のケガに備えたい！

- * ボランティア保険は、最寄りの社会福祉協議会で加入できます。
- * 加入手続完了日の翌日午前0時から補償開始です。お早めにお申込みを！
- * 社会福祉協議会が関わらないイベントでも加入可能です。保険の詳細は、福祉保険サービスホームページをご覧ください。



お問合せ
岩手県社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター

TEL:019-637-4483 FAX:019-637-7592

ずっぱりボランティアいわてサイト



認定NPO法人取得・更新情報

認定特定非営利活動法人として
認定更新された法人をご紹介します！



特定非営利活動法人劇団ゆう

設立以来、「子どもたちに夢と感動を！」との理念の下、県や市町村との協働による文化芸術の種まき事業と育成事業を通して、子どもたちの純真な心と無限の夢を形に、そこから生まれる感動を更なる成長につなげる活動をしています。住民参加型の文化芸術活動として、みんなでつくるミュージカル事業・夢いっぱいコンサート事業と、自主公演・ミュージカル受託事業を行っています。また、滝沢ふるさと交流会館の指定管理なども行っています。

＝基本情報＝

理事長 菊田 第一
岩手県滝沢市鶴飼細谷地 146 番 18



特定非営利活動法人劇団ゆう サイト→

1991年11月20日……任意団体設立
2001年9月13日……NPO法人設立
2013年3月28日……認定NPO法人に認定
2018年2月16日……認定NPO法人の更新(1回目)
2023年3月8日……認定NPO法人の更新(2回目)

認定NPO法人を目指しませんか？

認定NPO法人(特例認定NPO法人)は、一定の基準を満たしているNPO法人として税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは下記問合せ先まで。

岩手県若者女性協働推進室 認定NPO法人専門員 019-629-5199

消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)が始まります！

消費税の軽減税率制度の実施に伴い、令和5年10月1日からインボイス制度が始まります。

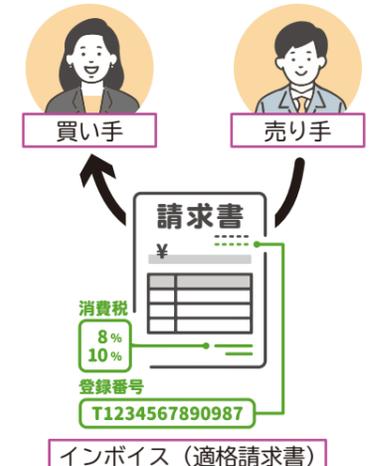
インボイス制度においては、買手側は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手(売手)から交付を受けたインボイス(適格請求書)の保存等が必要となります。

また、売手側は買手である取引相手から求められたときは、インボイスを交付しなければならないほか、交付したインボイスの写しを保存しておく必要があります。

適格請求書を発行できるのは、登録を受けた「適格請求書発行事業者」に限られるため、法人の事業実態に合わせて、登録を受けるかをご検討ください。

受取・保存

写しの保存



詳細はこちら

インボイス制度の詳細をまとめた特設サイトや、相談窓口一覧もご覧ください。



国税庁 インボイス制度特設サイト



インボイス制度に関する相談窓口一覧表

活動から
生まれたもの
紹介

活動の中から生まれた様々な商品があります。そのストーリーや作る側の想いをご紹介します。興味が湧いたらぜひ実物を見に出かけてみてください！

子どもたちが描いた絵を布地にした
「オリジナルポーチ」

蓬莱島、虎舞、鮭や船、鹿、防潮堤から見える景色など、大槌ならではの柄が描かれたポーチ。2022年秋、大槌町内の小学生から高校生を対象に「大槌ってこんなところ」をテーマに絵を募集し、その作品をアレンジして布地にした唯一無二のオリジナル柄です。

東日本大震災津波後の手芸活動をきっかけに、大槌にまつわる小物を制作・販売している「おおつちおばちゃんくらぶ」では、地域の子もたちが文化・芸術に触れる場所が少ないと感じ、子どもたちと一緒に何かできることはないかと考えていました。絵を通じたコラボレーションはその取組の一つです。

今年も子どもたちから絵を募集し、手ぬぐい制作に挑戦する予定です。子どもたちの目線による地域の宝が、おばちゃんたちの手で新しい柄・作品となります。見る人が地域を感じ、心を豊かにする作品として広く手に取ってもらえることを期待しています。



ポーチ以外の小物も！

お求めはこちら！

おばちゃんHouse…大槌町小槌 23-23-1
メール …………… adyn0827@yahoo.co.jp



おばちゃんHouseを
拠点に活動中！オリジ
ナルポーチの販売場
所や個別オーダーも受
付けています。

おおつちおばちゃんくらぶ

岩手県上閉伊郡大槌町小槌 23-23-1
(旧植田医院)
MAIL: adyn0827@yahoo.co.jp
TEL: 090-7074-0174
(代表: ^{かわらばた}川原畑 洋子)



NPOのための司法書士・税理士無料相談会

登記に関する各種相談

8/4、10/6、R6.2/2

講師：小山田 泰彦氏 (司法書士)

税金・税務に関する各種相談

9/8、11/2、R6.3/1

講師：丹代 一志氏、猿川 智之氏 (税理士)

【時間】①10:00～②11:00～③13:00～④14:00～ (6日前までに要予約)

対象：岩手県内のNPO・非営利型一般社団法人

会場：NPO活動交流センターまたはオンライン

詳細やお申込み先など→

NPO活動交流
センターからの
お知らせ



編集後記

今年度の初号となるP
IN(ぱいん)は、いかが
だったでしょうか。特集
でボランティアを体験し
たことで、ボランティア
情報に今まで以上に目
が行くようになりました！
夏以降は行事も増えそ
うなので、自分ができ
る活動をまた探したい
です。

「ユース世代に聴いて
みよう」では、これまで
35歳までの取組を紹
介してきましたが、今
後は高校生以下の取
組も紹介していきます。

今回「Flower Action」
みなさんから紙面には
書ききれないほど地
域や活動への熱い思
いを聞くことができ
、私自身も刺激を受
けました。今年度も
県内各地の連携事例
や団体の取材に伺い
ます。どうぞよろしく
お願いします。(N.S)